



平成 30 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 **ニチコン株式会社**
 代 表 者 名 代表取締役社長 吉田 茂雄
 (コード : 6996 東証第一部)
 問 合 せ 先 取締役 執行役員専務 広報・IR室長 近野 齊
 (TEL. 0 7 5 - 2 3 1 - 8 4 6 1)

平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と決算値との差異ならびに
 営業外収益および特別利益計上に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 10 日に公表しました平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日) の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。
 併せて、同期間における営業外収益および特別利益の計上について下記のとおりお知らせします。

記

1. 平成 31 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 連結業績予想数値との差異 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	58,000	2,600	2,700	1,700	24 41
今 回 実 績 (B)	59,883	2,300	3,666	655	9 41
増 減 額 (B - A)	1,883	△299	966	△1,044	
増 減 率 (%)	3.2	△11.5	35.8	△61.5	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	57,007	2,937	3,545	△2,149	△30 87

2. 差異が生じた理由

当第 2 四半期累計期間の経常利益について、自動車市場向けやインバータ関連機器向けにコンデンサの需要が堅調であったこと、および当第 2 四半期会計期間ならびに当第 2 四半期末時点の為替レートが期初予想に比べ円安に推移し、為替差益を 891 百万円計上したことなどにより、前回発表の業績予想を上回る結果となりました。

また、当第 2 四半期累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益については、投資有価証券売却益を 646 百万円計上した一方で、平成 30 年 9 月 28 日に公表しました「米国集団民事訴訟における和解および特別損失の計上について」による独占禁止法関連損失 2,648 百万円の計上などにより前回発表の業績予想を下回る結果となりました。

3. 営業外収益および特別利益の内容

(1) 営業外収益の内容

為替差益 : 891 百万円

昨今の為替変動により為替差益 891 百万円が発生したため、営業外収益に計上しました。

(2) 特別利益の内容

投資有価証券売却益 : 646 百万円

投資有価証券売却の理由 : 資産の有効活用と効率性の向上を図るため

投資有価証券売却の発生期間 : 平成 30 年 9 月 14 日～平成 30 年 9 月 25 日

投資有価証券の売却内容 : 当社保有の上場有価証券 1 銘柄

以 上